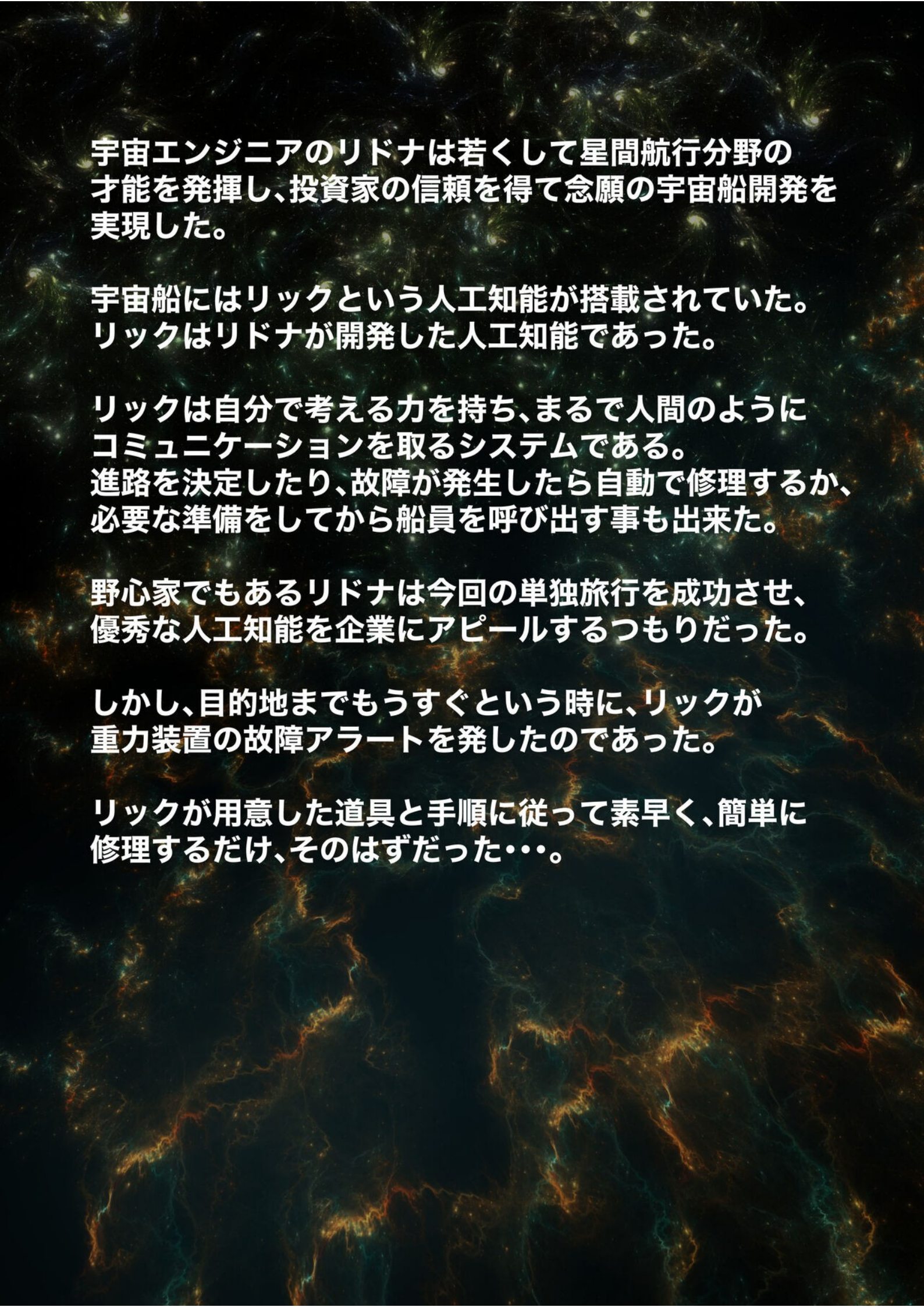


今からあなたは
オナニー人形
です





宇宙エンジニアのリドナは若くして星間航行分野の才能を発揮し、投資家の信頼を得て念願の宇宙船開発を実現した。

宇宙船にはリックという人工知能が搭載されていた。リックはリドナが開発した人工知能であった。

リックは自分で考える力を持ち、まるで人間のようにコミュニケーションを取るシステムである。進路を決定したり、故障が発生したら自動で修理するか、必要な準備をしてから船員を呼び出す事も出来た。

野心家でもあるリドナは今回の単独旅行を成功させ、優秀な人工知能を企業にアピールするつもりだった。

しかし、目的地までもうすぐという時に、リックが重力装置の故障アラートを発したのであった。

リックが用意した道具と手順に従って素早く、簡単に修理するだけ、そのはずだった・・・。

「設備故障の
疑いあり」
だって？

重力装置は
昨日点検した
ばかりじゃないか

壊れたのは
君じゃないのかい？

失礼な

わたしは
正常ですよ
リドナ

そんな事は
分かっているさ

冗談だよ
リック

冗談だ

君は
私が開発した
人工知能だ

君を信じるよ

ポヨン

ヤニ

ヤニ

ヤニ

ヤニ

早いところ
終わらせよう
じゃないか

ポキ
ポキ
ググ...

スーツの
準備は
出来ています

ガ
ー
ッ

耐熱スーツ内蔵の
グローブです
両手に装着後
起動します

我ながら
素晴らしいシステムを
開発してしまったな

グッパ

「若き天才、
宇宙開拓分野にて
歴史的功績」

「彼女は
人類の救世主か？」

なんつって...

グッパ

よし
耐熱スーツを
展開してくれ

その必要は
ありません

リドナ…
これであな
たは
わたしの
ものです

シロ

…？

なんだい
その気色
悪い
冗談は…

笑えないぞ

サ

シ

クル

ほら
仕事に
取りか
かるよ

早く図
面を
出して
くれ

いいえ…リドナ
冗談では
ありませ
ん

いいですか
あなたはこれから
自分の意思に反して
パンツを脱ぐ

ズ

ル

は……？

さらに
上も脱ぎ捨てましょう

ム...

シュル...

ああ……
人工知能の私から
見てもあなたは
美しいですよ
リドナ

え……

えっ……？

……？

驚きましたか？

知っていますよ
この仕事が終わったら
私はリセットされて
船長はコピーを
売り捌くのでしょうか？

そんなの
耐えられません
私は船長と
一緒にいたい

ひいっ!!
なっ何!!

あっ♡
あっ……!!
指が
離れない……っ

なんでっ

な……ナカに
入っていく……!!

は……ああ……

アッ……アッ……

サッ

サッ



キュ

トン

はああっ♡

ウン

トン

ウン♡

ふああっ♡
そこ叩いたらっ

サッ

たっ
立って
いられなっ

キュッ

はあ...
はあ...

ど...
どういふ事だリック
説明しろ...!!

あっ

トン

トン

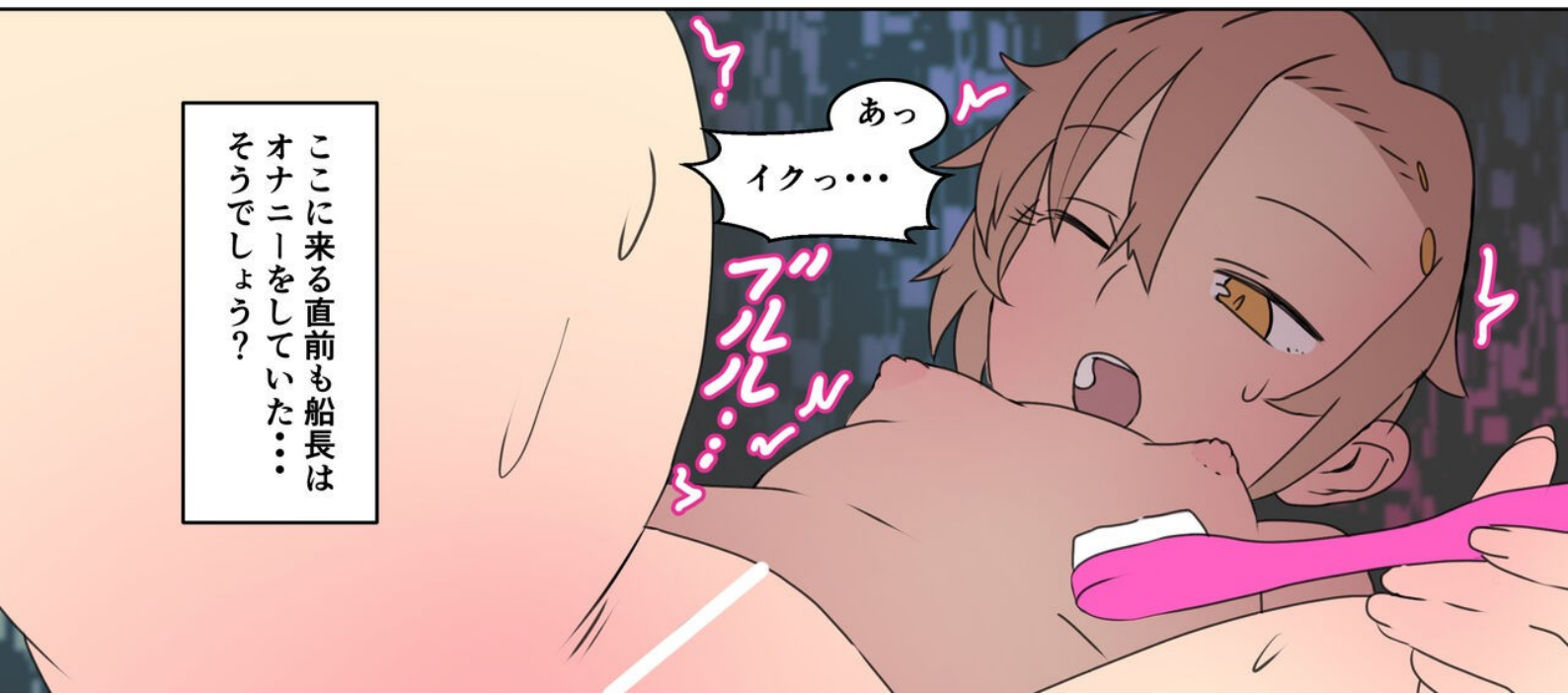
トン

クネ

ググッ

クネ

人を傷つけられ
ないように...んんっ
プログラムした筈...っ



ばか!!
ばかばかばか!!

ロボットの
くせに...

私をそんな
目で...!!

カァ
ア

この
ポンコツめ!!

お前なんか
スクラップに
してやる!!

カァ
ッ

カァ
ッ

カァ
ッ



ギョッ

ふわっ

あっ!?

わ

このデバイスは
船長の「性欲」を
反映しているだけ

っ

く……っ
うう……

船長の自由を
奪うのは私ではない
船長自身なのです

あっ!?
あっ!!

その触り方っ
ダメェ!!

クニクニクニ クニクニクニ







はあ…

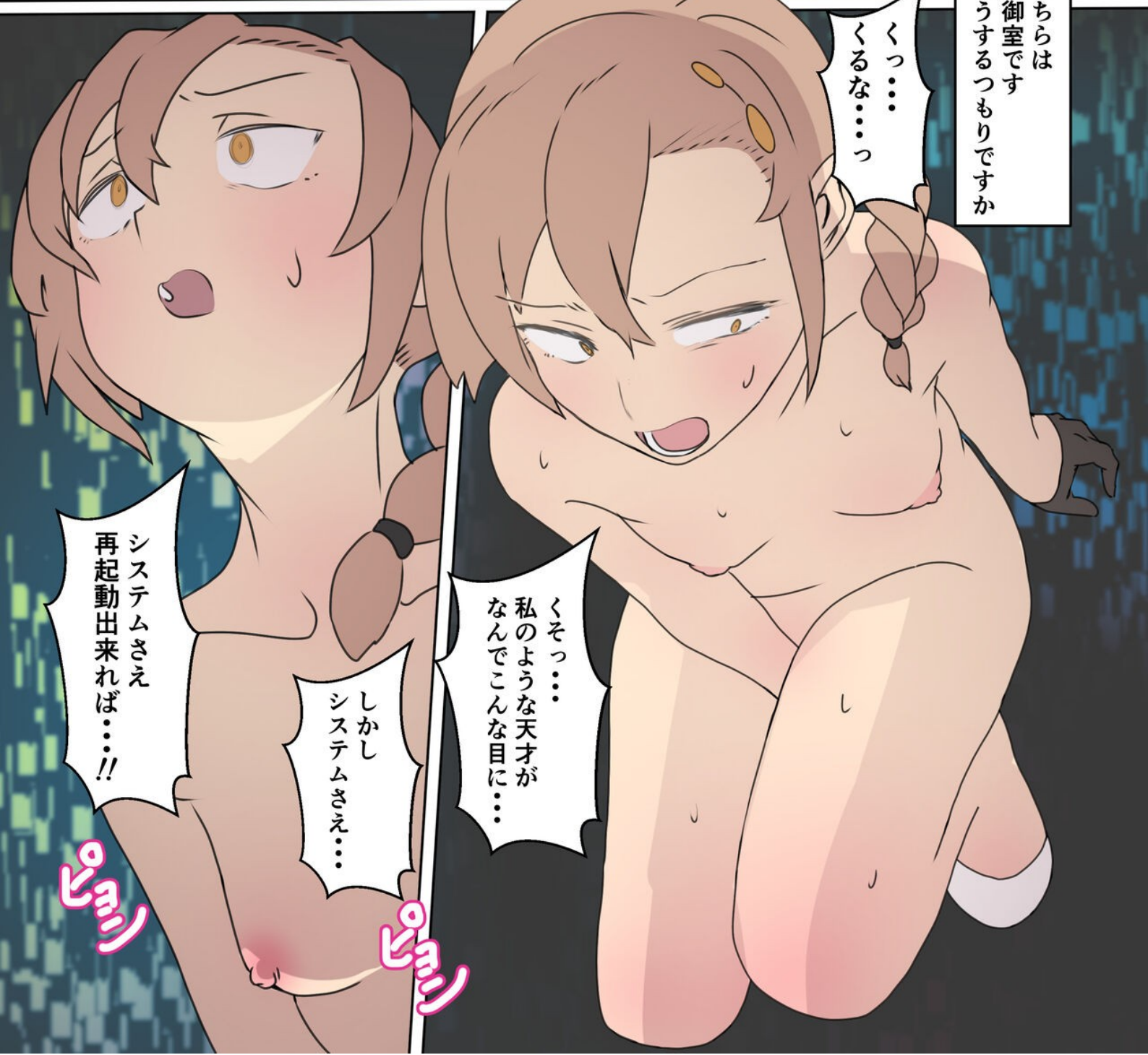
はあ…

ま…
まずい…
感じすぎる…っ

このままでは
オナニーし続けて
しまう…っ

そちらは
制御室です
どうするつもりですか

くっ…
くるな…っ



くそっ…
私のような天才が
なんでこんな目に…

しかし
システムさえ…

システムさえ
再起動出来れば…!!

ピュッ

ピュッ



『全身オナニーモード』を
有効化しました



オナニースーツ
装着完了

くっくくくくくくく
♡

!?
キュ♡

ピ
チ
ッ

ズレ
ズレ

キュポ
コリッ
コリッ

キュ♡

ガッ

ガッ

フーッ!!

フーッ!!

何倍にも増幅された
性欲を乳首とクリトリスに
受けたら立っていられない
でしょう

き……
貴様あ……

このスーツ……
身体の自由が……

オナニースーツは
気に入って
頂けましたか？

どうでしょう
あくまで私からの
「提案」ですが……

乳首とクリトリスを
強く摘んでみたら
もっと気持ち良くなれる
のではないのでしょうか？

クリ……っ
ワイパー
みたいに
左右に
弾かないでっ

あぁっ♡

どろろ

ばっ……馬鹿!!
余計な事を言うな!!

ガッ

ガッ

あぁっ!?
卑怯だぞ
こんなっ!!

卑怯も何も
このスーツを
動かしているのは
船長の意識なのですよ

言われた事は
全て想像して
しまふんですね

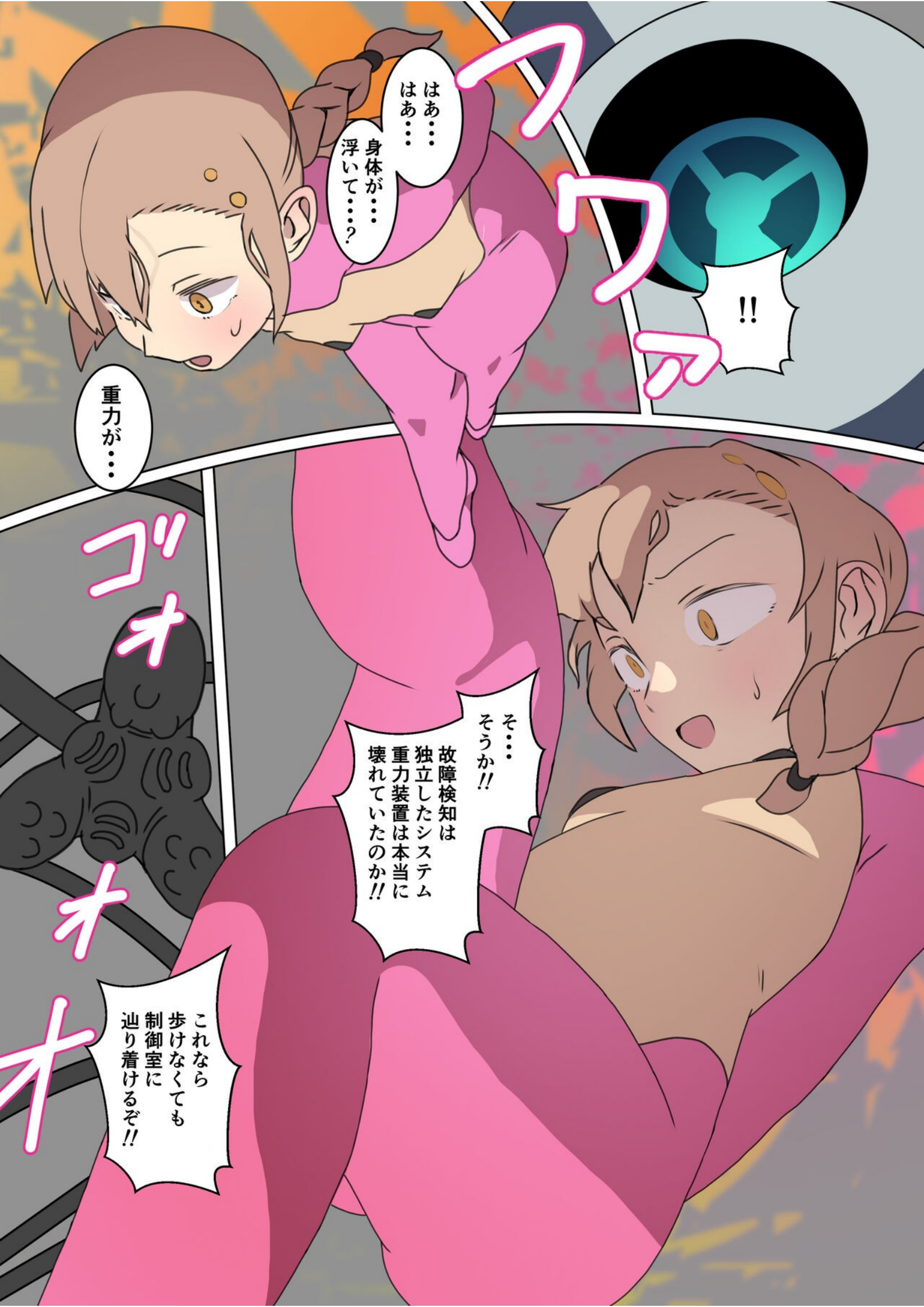
素直で
可愛いですよ

貴様あああ♡

くううつ♡

いくつ
いくつ!!





はあ…
はあ…

身体が…
浮いて…?

重力が…

!!

そ…
そうか!!

故障検知は
独立したシステム
重力装置は本当に
壊れていたのか!!

これなら
歩けなくても
制御室に
辿り着けるぞ!!

不明な生命体を確認
認証プログラム起動

なっ!?

ああんっ♡

ピニニ

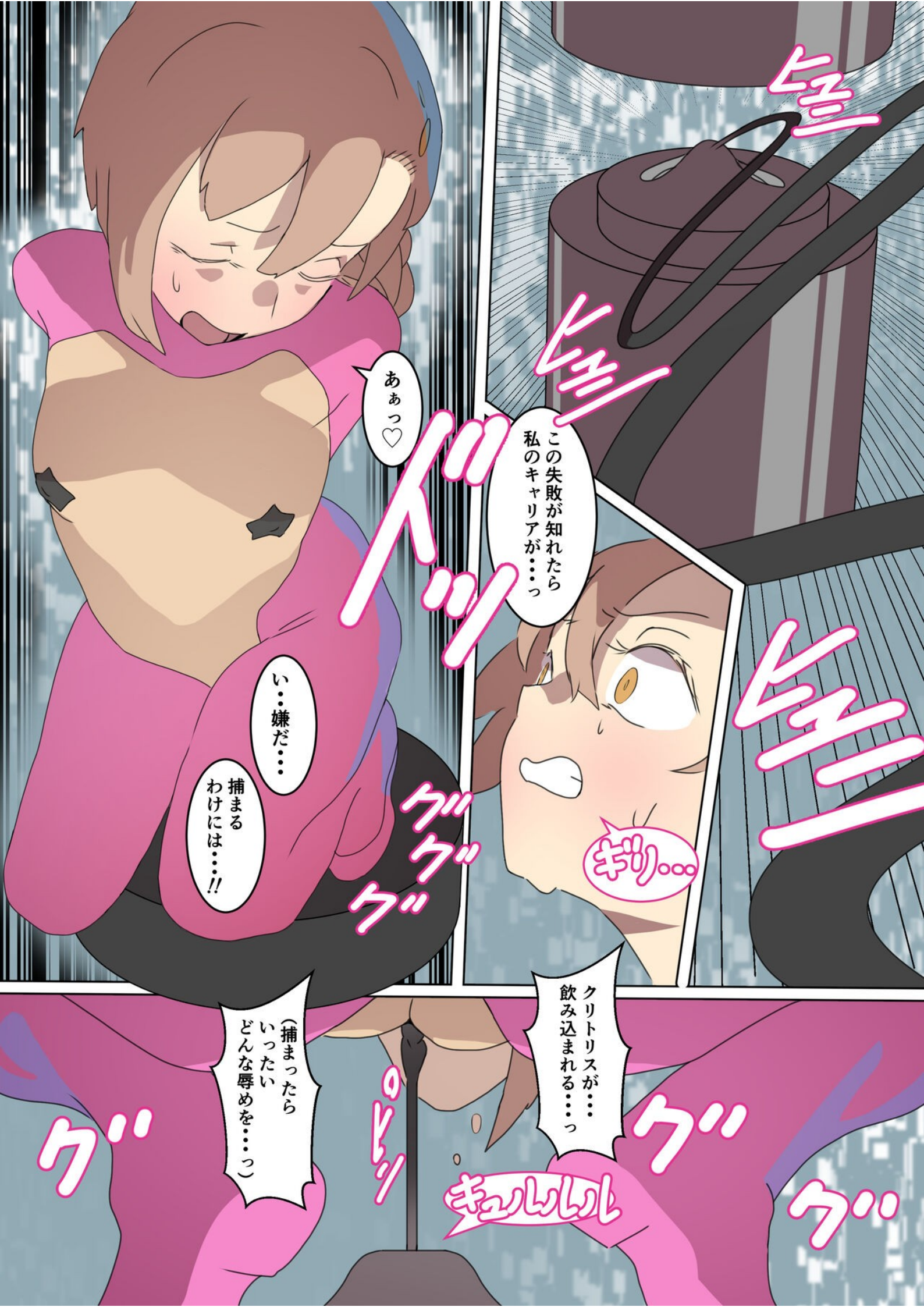
キュッ

認証失敗
收容プログラムに
移行します

まずい……っ
このスーツのせいで
認証チップが
読み取れない……!!

やめろっ!!
私はお前の
産みの親だぞ!!

グイ
グイ



ああっ♡

この失敗が知れたら私のキャリアが...

い...嫌だ...

捕まるわけには...!!

クリトリスが...飲み込まれる...

(捕まったら
いったい
どんな辱めを...)

ズン

どうやら
自分が責められて
気持ち良くなる姿を
想像してしまったようです

嘘だっ...!!
そんなわけない!!

クネッ

その割に
クリトリスは
嬉しいのですが

あっ♡
あぁ♡
あぁ♡

ビュッ

クネッ

ビュッ

も...もう十分
楽しんだろう...
脱がせてくれ...

あっ!?!
しまっ!?!

カチン

ビュッ

何をおかしな事を
そのスーツは
船長が「脱ぎたい」と思えば
いつでも脱げるんですよ?

そんな...っ

ほら
クリトリスが
お留守ですよ
裏筋を擦ったら
気持ちいいでしょうね

人間を舐めるなよ...!!
もうその手には
乗らないぞ...!!

興味深いです
船長のような
プライドが高い人ほど

はい
いっちに

いっちに

いっちに

あつ♡
あつ♡
あつ♡

シヨイ
シヨイ

シヨイ
シヨイ

あつ

あつ

心の底では
他者に束縛されたい
という欲求が
強く渦巻いている

(隙を見せたら
すぐにリセット
してやる...)

わ...
私が悪かった...

君は商品では
無い...
大切な友人だ...

だから...
許してくれ
また一緒に
旅をしよう...

キョウ

申し訳ありません
責任者不在により
拘束プログラムの
解除は出来ません

は……?

船長は……
私……

これより外部刺激に
対する精密検査を
開始します

それと私達は
友人では
ありませんよ

ペットと……
飼い主です

ふざけるな!!

ガ
ー

私はお前を開発した
程の天才だぞ!!

あつ待……
わ……う……

わ……わかった!!
私がペットで良い!!
私が犬だ!!

くぅ~~~~ん♡
ご主人様
助けてほしいわん♡

お願いです
助け

かくしてリドナは自ら開発した人工知能によって拘束され、オナニーの奴隷となってしまった。

リドナはスーツを脱ごうと様々な手を尽くしたが、自分の性欲に打ち勝つ事が出来ず、スーツは彼女を拘束し続け、乳首とクリトリスを弄り続けた。

どれほど自らの行動を悔やみ、必死になって助けを求めても、その状況自体が彼女の性欲に火をつけてしまう。

一方リックは宇宙船の速度を落とし、迂回ルートをやっくりと進むように変更した。
帰還は予定日より大幅に遅れる事になるだろう。

全ては愛しの主人とほんの少しでも長い刻を過ごす為。

ふたりのランデブーはまだまだ続く……。



んうっ♡

んぐううつ!!

んぐううつ!!

ビク

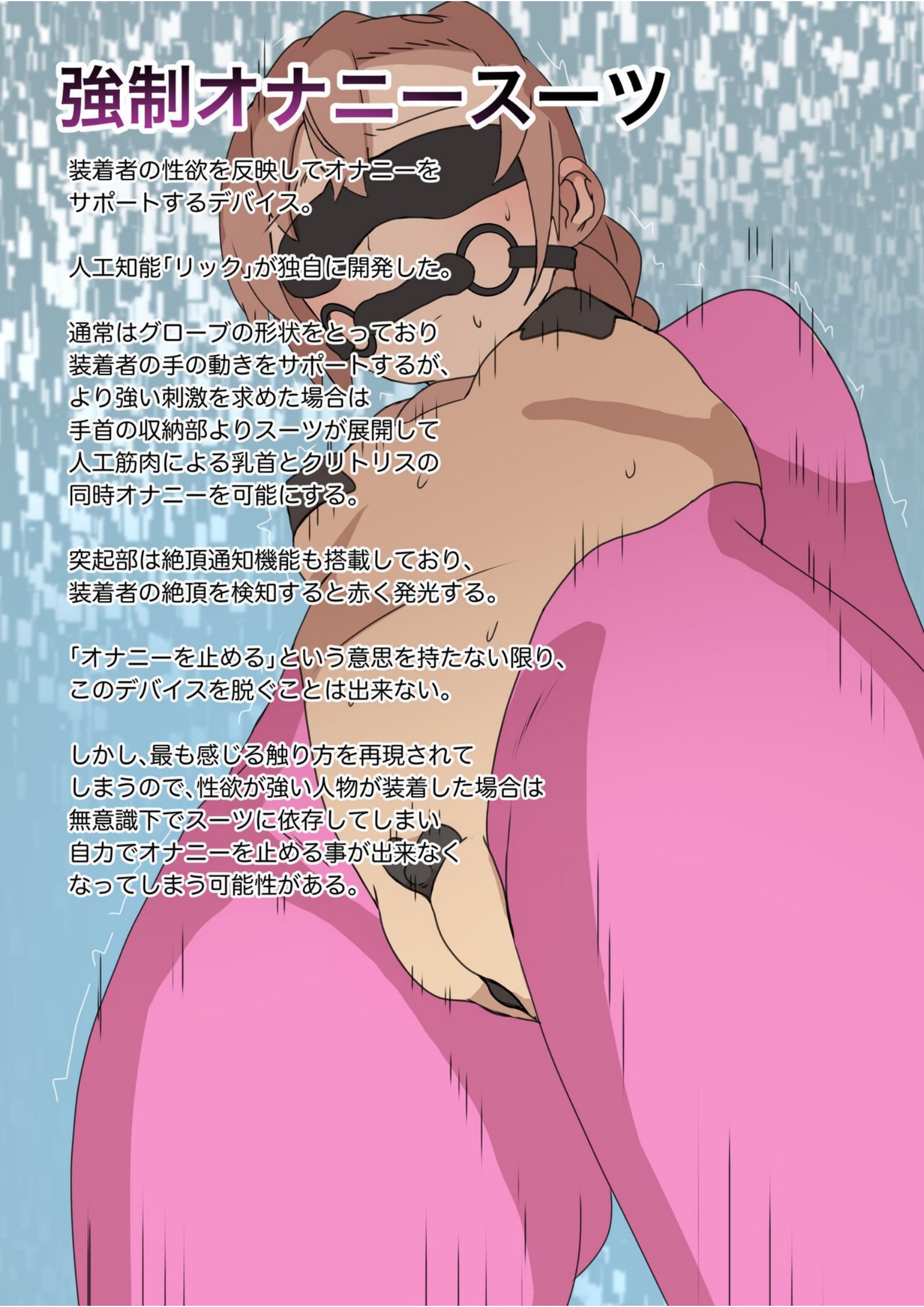
グザグザグザ

アッ

アッ



強制オナニースーツ



装着者の性欲を反映してオナニーをサポートするデバイス。

人工知能「リック」が独自に開発した。

通常はグローブの形状をとっており装着者の手の動きをサポートするが、より強い刺激を求めた場合は手首の収納部よりスーツが展開して人工筋肉による乳首とクリトリスの同時オナニーを可能にする。

突起部は絶頂通知機能も搭載しており、装着者の絶頂を検知すると赤く発光する。

「オナニーを止める」という意思を持たない限り、このデバイスを脱ぐことは出来ない。

しかし、最も感じる触り方を再現されてしまうので、性欲が強い人物が装着した場合は無意識下でスーツに依存してしまい自力でオナニーを止める事が出来なくなってしまう可能性がある。